

クローバー通信

「女性医師支援センター講演会を終えて」

平成 24 年 11 月 10 日、女性医師支援センター講演会が内閣府・男女共同参画推進連携会議の推進事業として関湊記念ホールにおいて開催されました。

名古屋市立東部医療センター名誉院長、名古屋市病院局スーパーバイザーであり日本女医会会長でもある津田喬子先生から「キャリア継続の道しるべ」と題してお話しをいただきました。印象に残ったフレーズが『アクセルを踏み続けること』。どんな形でもいいから医師としての仕事を続けること、その時の自分にできることを細々とでもやっていくことの大切さを教えて頂きました。また、ロールモデルとなる先輩が傍にいたり、メンターに助言をもらうなど、人生の岐路ではいろいろな人の力があつたそうです。津田先生ほどのキャリアの方でもロールモデルの存在は、仕事を続ける上で重要な存在なのだなと感銘を受けました。

埼玉医科大学病院脳神経外科教授の藤巻高光先生からは「女性医師とともに生きる一夫として、同僚として、上司として」と題して、ご夫婦で3人のお子様を育てながらどのようにキャリアを積んできたかを具体的にお話しいただきました。時には3交替制で家政婦さんが変わり、奥様の給料のほとんどが家政婦さんへの給料にあてがわれていってしまうなど、子育てをしながら仕事を続けていくことがいかに大変か。それでも大変な時は一時と明るく前向きに考え、乗り切る姿勢には頭が下がりました。また、今までの子育て経験を生かして、医局員が産休・育休をとる時には教授としてマンパワー不足を補い奮闘していたお話が印象に残りました。

とても素晴らしい講演で私もまた明日から仕事を（人生を）頑張ろう！と思いました。土曜日の午後という忙しい時間帯の中、会場に足を運んでくださった皆様、ありがとうございました。

(女性医師支援センター 坪井弥生)



センターからのお知らせ

第4回 クローバー交流会開催

- ◆ 日時 12月8日(土)
14:00～15:30
- ◆ 場所 女性医師支援センター
クローバーにて

◆ ロールモデル紹介

《第1外科(小児外科)》荻野 恵 先生
《循環器内科》早川 弥生 先生
飲み物とお菓子(お子様にはおもちゃも)
を用意してお待ちしておりますので、ぜひお誘い合わせの上、ご参加ください。

医師のためのガイドブックが完成！

獨協医科大学の医師のための、妊娠・出産・育児・介護に関する規程集を作成しました。妊娠したときの手続きや休暇に関する提出書類、給付金の金額等をわかりやすくまとめてあります。

クローバー内でのみの閲覧となりますので、ぜひ一度手に取ってみてください。

また、内容等について、お気軽にお問い合わせください。

—皆さまからの企画を募集します—

センターで開催している講演会及び交流会の企画を募集します。たくさんのお声をお待ちしておりますので、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

女性医師支援センター(内線3486)

✉ E-mail clover@dokkyomed.ac.jp